

無駄なく快適に冬を過ごすために

『暖房』のCOOL CHOICE

私たちは毎日の暮らしで大気中にCO2(二酸化炭素)を排出し、

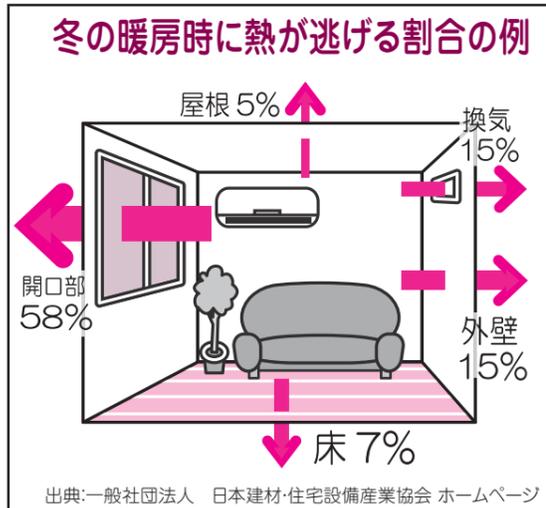


未来のために、いま選ぼう。

大気中のCO2濃度の上昇により地球が温暖化しています。地球温暖化を防ぐためには、私たち一人ひとりが問題意識を持って省エネを実践することが大切です。環境省は、「未来のために、今選ぼう」と国民運動として「COOL CHOICE(クールチョイス)」を呼びかけています。COOL CHOICEは「賢い選択」と訳し、国民一人ひとりが日々の生活の中で環境に配慮したモノ・コトを選ぶことで、CO2排出量を削減することを目指しています。そこで、冬の家庭の

暖房をキーワードに、COOL CHOICE事例を紹介します。暖房器具を上手に利用することで、無駄なく快適に生活することができ、用特別に暖房器具の使い方を見てみましょう。

エアコン、ガス・石油ファンヒーター



エアコン、ファンヒーターは、部屋全体を温められる暖房器具です。まず、温めた空気がどこから逃げるのかを知りましょう。右図のとおり、窓や壁、床などから逃げていきます。特に窓からの放熱が大きいので、遮熱シートやカーテンなどを利用し窓から熱が逃げにくくする工夫を行なうと快適な生活と省エネにつながります。

電気カーペット、電気こたつ、床暖房のCOOL CHOICE例

カーペットは、人のいない部分のスイッチを切ることができる機能を持つものもあります。積極的に活用しましょう。また、上半身をあたためることは不向きですので、カーディガンなどを一枚多めに着ましょう。あたたかい新素材の下着や靴下なども効果があります。ストーブやエアコンなど、他の暖房機器と併用する場合は、温度設定を控えるようにしましょう。

中国四国ブロック・地球温暖化防止活動推進員合同研修会 維新ぜよ!中国・四国地域の温暖化防止活動 事例発表・グループワークでスキルアップ

中国四国ブロックの地球温暖化防止活動推進員と地球温暖化防止活動推進センター職員



グループワークに取り組む参加者

が計70人参加し、9月6日・7日、高知市のことう男女共同参画センター「ソール」で合同研修会を開催しました。今回は、「維新ぜよ!中国・四国地域の温暖化防止活動」をテーマに、自分なりに推進員像に近づけるためのステップを明確にし「行政」「学校」「企業」「地域」などのニーズに応える活動について、事例発表やグループワー

クなどを通じて学び合いました。はじめの講演は、島根県地球温暖化防止活動推進センター副センター長長 榎本 崇司さんが「地球はこれからどうなるの?」と地球環境問題を解決するためのヒントを探ると題して、節制や我慢と結びついた啓発活動を刷新し、電力消費が少なく寿命が長い製品を利用する、家は断熱性が高いほど健康に良いなどの情報を皆で共有し、温暖化対策は生活の質を高める活動であることを広めようと呼び掛けました。

事例発表では、広島県の信濃晋介さんが病院や福祉施設の電気使用量を削減するサービスク事業と省エネを結び

つけた事例を、次いで、山口県の今村主税さんが「フードバンク山口」の事例を、最後に、高知県の宮地竜好さんが「紙すき体験学習」の事例を紹介しました。その後、各自の得意技を活かした活動に対象者のニーズに合わせて企画書を作成し、12のグループに分かれて企画書の実施に向けた課題の解決策を話し合いました。グループ討議を受けて修正した企画書は、参加者全員で楽しさや実現可能性、継続性などの観点で投票し、「四国の海の中を見てみよう」が最多得票、「災害に対する適応策」被災地での活動の中でクールチョイス!」が次点となりました。

事例発表では、広島県の信濃晋介さんが病院や福祉施設の電気使用量を削減するサービスク事業と省エネを結び

つけた事例を、次いで、山口県の今村主税さんが「フードバンク山口」の事例を、最後に、高知県の宮地竜好さんが「紙すき体験学習」の事例を紹介しました。

その後、各自の得意技を活かした活動に対象者のニーズに合わせて企画書を作成し、12のグループに分かれて企画書の実施に向けた課題の解決策を話し合いました。

エアコン、ガス・石油ファンヒーターのCOOL CHOICE例
タイマーを上手に使う
室温は20℃を目安に!必要なときだけ利用
外出や就寝の15分前にスイッチオフ
厚手のカーテンを使用して窓からの熱の出入りを防ぐ
買い替えの際は省エネ製品を選ぶ
適度な湿度を保つ

電気カーペットやこたつは、床にじかに敷くと、熱が床に逃げて暖房効率が下がります。カーペットやラグの下に断熱シートなどを敷きましょう。電気暖房は運転をストップしてもすぐに冷めることはなく、暖かさを保持します。就寝や外出の約30分前にスイッチを切るようにしましょう。タイマーを使えばスイッチの切り忘れを防ぐことができます。また、カーペットやラグマットなどを使用しない方が効果的です。床暖房のある部屋にベッドを置く場合は、ベッドの下に物を置かないようにしましょう。

私たちの日々の生活の中で省エネにつながる選択肢は無数にあります。今一度、生活の中の無駄の点検を行なってみませんか。また、TEAMMATEひろしまは電気使用量で省エネを見える化する「光熱費節約大作戦!」に取り組んでいます。皆さまのご参加をお待ちしております。

床暖房の場合はカーペットやラグを使わない
タイマーを上手に使い切り忘れ防止
遮熱シートで床から熱が逃げるのを防ぐ